

発行:余市協会病院

発行日:平成31年1月1日

発行人:吉田 秀明

編集人:広報委員会

お問い合わせ:0135-23-3126

VOL.174 1月号



## 平成31年 新年の挨拶

(社福) 北海道社会事業協会

余市病院 院長 吉田秀明

皆様、新年明けましておめでとうございます。

ここ数年のことですが、今年の冬はのんびりやってくるのかなと油断していると、いきなり真冬が続いたり、はたまた雨が降ったりで、気温と気圧の高低差には随分と鍛えられることが多いようです。救急講演会などでもお話させていただいたとおり「病は天気から」を実感する毎日ですが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

今年もまず兄弟病院の紹介から。

岩内病院の「西後志透析センター」は、地元住民の皆さまや役場関係者の方々にとっても好意的に歓迎されており、順調に運営されています。

現在は、岩宇四ヶ町村のみならず、黒松内や寿都方面へも送迎車を走らせていて、計22名の方々にご利用いただいております。

また、昨年11月には待望の整形外科医が着任し、手術を含めた総合的な整形外科診療が可能となりました。岩内病院は長らく、医師不足のために地域の皆様に大変なご不便をおかけしていましたが、このたび診療の幅が大きく広がりましたので、地域医療により一層貢献できるものと期待しています。

小樽病院の「周産期母子医療センター」は平成30年7月から約2年ぶりに分娩取扱を開始しています。これも偏に地域住民皆様の熱意と道庁の御指導を仰ぎながら地域の行政・議会が協力して力強く真摯に取り組んでいただいた賜物と深く感謝申し上げます。現在、常勤医2名と非常勤医2名の体制で、着実に安心・安全なお産に取り組んでおります。

余市病院は、岩内・小樽とは兄弟病院ですので、これらの発展的な出来事は、とても喜ばしく勇気づけられる思いです。

さて、余市のお話ですが、一昨年に続き昨年の年度替わりにも整形外科担当医師が退職、夏にも急遽3名の内科系医師が退職するなど、非常に大きな荒波を受けた年でありました。そもそも年度初めから赤字予算を余儀なくされていたのですが、4月と7月に各1名の実力のある医師が加わり、さらに余市病院職員個々のプライドを感じさせる奮闘と、地域の皆様と役場、北後志消防組合のご理解と御協力をいただき、どうにか健全に運営を続けさせていただいております。有難うございます。

また、6月には元北大病院看護部副部長を当院の看護部長に迎えることができ、看護部の体制の強化に取り組んでおります。

(裏面につづく)

(表面からのつづき)

ところで、高速道路が開通しました。

私も数回利用しましたが、病院から札幌北インターまで40分程度、北大病院までも50分かからないくらいですので、とても便利です。

今後、医師や看護師のリクルートにも良い影響が出てくるに違いないと、大いに期待しています。

次に、このところ話題となっている「働き方改革」について。

地方の医師不足の実情をまったく理解していないお役人が作った法案と思います。余市に限らず、地方ではつねに医師や看護師が足りません。そんな中でも時間外や救急に対応するために、現在でも必死にやりくりしているのですが、医師の「労働時間規制」が適用されると、常勤医の勤務状況はもとより、大学や他の病院からたくさんの医師を応援派遣いただいているのですが、そのあり方にも大きな影響が出ます。

当院で「労働」して元の病院に帰ると、そこの勤務を減らす必要があるからです。派遣元の病院も、規制をクリアするために派遣実態を大きく変更する(減らす)必要に迫られることが必定なのです。これは地域医療存続にとって、由々しき事態であり、私は法案には反対しませんが「労働者」の定義から医師を外すよう提言してまいる所存です。

昨年から進められている「地域包括ケアシステム」構想は、地域における効率的な病床編成、病診連携、多職種間連携などを柱としていますが、そもそも医師不足である地域に、さらに追い打ちをかけ、病院の維持が不可能になるような施策はいかなるものか、慎重に議論していただきたいものです。

最後に、余市病院は「医療インフラを維持して北後志生活圏を縁の下で支えること」に存在意義があると考えています。

今後も、地域の皆様に応援していただけるような病院を目指して、職員一同ますます励みたいと思いますので、なお一層の御理解を賜りますようお願い申し上げます。

平成31年 元旦

## クリスマスリース 頂きました☆



北星学園余市高校の生徒様よりクリスマスリースのプレゼントを頂きました。ありがとうございます！



## クリスマスコンサート



12月13日に恒例のクリスマスコンサートを開催しました。リタ幼稚園園児の皆さんによる素敵な合唱、札幌ピエロフリークさんによるマジックとジャグリングで大いに盛り上がりました。出演された皆様、大変ありがとうございました。



救急件数 (11月)

外来受診200件 うち入院36件  
救急車来院79件 うち入院26件